

学校には、感動がある！

これからの社会に貢献する人間性豊かで品格ある

たくましい人の育成に向けて

体育祭での学び

校長 村上 昭夫

○5月29日(土)、天候に恵まれ第67回体育祭を開催することができました。新型コロナウイルス感染症防止対応により、3年生保護者1名への公開とさせていただきました。ご理解ご協力に感謝申し上げます。一日も早く感動を多くの皆様と共有できるよう感染症防止対応を継続してまいります。

○体育祭には多くの「感謝」がありました。近隣の皆様には、練習期間から生徒の声や音楽等響く毎日を温かく見守っていただきました。近隣の10の学校から熱中症予防のためテントをお借りすることができました。保護者の皆様には、お子様の体調管理、体操着の洗濯等日々ご配慮いただきました。生徒自身の頑張りにも感謝したいと思います。

○今年の生徒姿についていくつか述べます。生徒会が設定したスローガン「one team ~心は密に 体は distancing~」のとおり、1~3年生の別なく、仲間の努力を認め、励まし応援していました。自分を受け入れてくれる場があり、受け入れてくれる人がいます。多くの人と力を合わせることでより大きなことができます。1~3年生の別なく応援し応援される姿は正に「one team」でした。

★3年生の競技に向かう姿勢にたくましさを感じました。

ゴールが見えてくると安心するためか、そのゴールの1~2mくらい手前で力を抜いてしまうことが下級生に時折見られました。3年生ともなると、ゴールの5m先にゴールがあるかのように走り切っています。実にすがすがしい光景でした。私は、とても大切なことだと思っています。何かに取り組んでいく姿勢として、自分の力を出し切る方法として、運動に限らず応用がきくことだと思っています。

★他者との協力のもと集団生活の向上に努めました。このことについては、石中生のよさが引き継がれていると感じます。お互いを理解して、自分の力を出し切るよう力を出していました。運動の得意不得意はあろうかと思いますが、みんなが今持っている力を出し切ろうと努力していることをみんなが認める雰囲気を作られつつあります。教職員も支援しています。

★今年も新しい競技を実施しました。どのようにしたら早くゴールできるかを考え、協議して、実行してまた修正していくよう工夫をしていました。実施の前から「思考する」体育祭となりました。

●各学年の生徒も順調に成長しています。今後とも本校の教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。

オリパラ講演会を開催します

本年度のオリンピック・パラリンピック教育の講演会を、6月11日（金）の5校時に第1学年、6校時に第2，3学年で実施します。本年度はシッティングバレー前日本代表の方にお話をいただきます。

- 演題 「障害者アスリートと考える、障害ってなに？
みんなが暮らしやすい社会を考えよう」
- 講師 佐々木 一成 様
(シッティングバレー前日本代表)
(一般社団法人プラス・ハンディキャップ代表理事)



シッティングバレーを通して、障害者アスリートと直接ふれあう体験をし、障害やノーマライゼーションへの理解と関心を深めてもらいます。また、多様な人々が暮らしやすい社会の構築を目指し、社会参画の意義や人権尊重の心を育む機会にすることを目的としています。どうぞよろしくお願いいたします。

◎表彰の記録◎

◇バドミントン部

- ◆令和3年度 大田区中学校バドミントン選手権大会 5/9
男子団体 第3位

- ◆令和3年度 大田区中学校バドミントン選手権大会 5/23
女子シングルス 第3位
男子シングルス 第5位
男子ダブルス 第8位



◇オリパラ・ボランティア作文 5/21

- 最優秀賞 2名
優秀賞 4名
佳作 4名